

KK-903

Shake Reduction MC Drive Recorder

取扱説明書

KOMINE ご使用前に必ずお読みください **KOMINE**

- ※取扱説明書の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ※商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を次のシンボルマークで示しています。	
 危険	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重症に至る差し迫った危険が想定される場合を示してあります。
 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

- よくあるご質問
- 安全上の注意
- 使用上の注意
 - 録画に関する注意
 - 無線LANに関する注意
 - 取り扱いに関する注意
- SDカードについて
- 製品仕様
- 構成部品
- 各部の名称
- 取り付け方法
 - 取り付け上の注意
 - 取り付け手順
- 専用スマートフォンアプリ「KOMINE CAM」について
- 取り付け後の初期設定
 - スマートフォンと本体を無線LANで接続
 - スマートフォンアプリで各種設定を行う
 - 撮影データの確認
- 使用方法
 - 常時録画
 - 衝撃録画
 - プロテクト録画
 - 本体の電源のON-OFF（バイクのキーはON）
 - インジケーター標示一覧
 - 本体の初期化
- 保証規定

ご質問内容	回答
インジケータの表示がおかしい（青の常時点灯にならない）	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはメインボタンを一度押してください。それでも戻らない場合は以下の要項をご確認ください。
車両IGをONしても、インジケータが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューズが切れていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －ヒューズ切れの原因を取り除き、ヒューズ(3A)を交換してください。 ・電源ユニット、スイッチケーブルの中継コネクタが外れていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
システムチェック動作後、インジケータが点滅表示になる。（常時録画に切り替わらない。）	<ul style="list-style-type: none"> ・本体にSDカードが挿入されていますか？ <ul style="list-style-type: none"> －SDカードを正しく挿入してください。 －別のSDカードを挿入してください。 ・アプリ上でカメラの動作を確認していますか？ <ul style="list-style-type: none"> －コネクタの接続部に汚れがないか確認してください。 －断線部分があれば新しくカメラをご購入ください。
SDカード異常の表示がでている。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードに端子の汚れやひび割れはありませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －SDカードの端子清掃や新しいSDカードと交換をしてください。 ・SDカードにKK-903とは関係のないファイル、フォルダが書き込まれていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －KK-903とは関係のないファイル、フォルダを削除するか、SDカードを本品でフォーマットしてください。 ・上書き保存（常時）がOFFに設定されていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －上書き保存（常時）の設定をONにするか、新しいSDカードと交換してください。 ・本品でフォーマットしていないSDカードを使用していないですか？ <ul style="list-style-type: none"> －フォーマットが必要です。本品でフォーマットしてください。
イベント録画（衝撃録画、手動録画）の容量が上限に達してしまっった。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードを新しくするか、データをPCに移しフォーマットを行ってカードを初期化してください。
カメラ異常表示が出ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。 ・ケーブルやカメラに破損はありますか？ <ul style="list-style-type: none"> －新しいカメラを購入してください。
カメラの映像が傾いて、または天地が逆に録画される。	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリを用いてのカメラの角度調整は行いましたか？ <ul style="list-style-type: none"> －アプリ上でリアルタイムの撮影映像を確認しながらマウントのボルトを緩め、撮影角度の調整を行ってください。
フロントカメラとリアカメラの映像が入れ替わって録画される。	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントカメラとリアカメラの本体接続が逆になっていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －正しい接続先に接続してください。
フロントカメラとリアカメラの映像の色調に差がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・フロント、リアで録画時の被写体（環境）に差がありませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －フロント、リア個別に被写体に合わせ、自動で色調を調整しています。異常ではありません。
録画された映像が鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラのレンズが汚れていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －水を含ませた柔らかい布で、レンズを軽く拭いてください。
録画された映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラケーブルの中継コネクタが緩んでいませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。 ・ケーブルやカメラに異常、破損はありませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －新しいカメラを購入してください。 ・振動が大きい箇所に取り付けを行っていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －カメラ固定部の振動が大きい可能性があります。カメラ固定位置を変えて確認してください。
衝撃録画がされない。	<ul style="list-style-type: none"> ・衝撃検知の設定がOFFになっていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －衝撃検知感度の設定をONにしてください。 ・衝撃検知感度が低く（鈍感）設定されていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －衝撃検知感度を高くしてください。
衝撃録画が頻繁にされる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本体が車両にしっかり固定されていますか？ <ul style="list-style-type: none"> －本体をしっかりと車体に固定して下さい。 ・衝撃検知感度が高く（敏感）設定されていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> －衝撃検知感度を低くしてください。

ご質問内容	回答
スマートフォンから無線LAN接続出来ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを正しく入力しましたか？ <ul style="list-style-type: none"> —正しいパスワードを入力してください。パスワードが分からない場合は、本体を初期化し無線LANパスワードを初期化してください。
スマートフォンと接続したが、アプリで接続エラーになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンで「インターネット接続が無いネットワークの接続を維持する」に設定していますか？(Androidのみ) <ul style="list-style-type: none"> —スマートフォンアプリガイドを参照して、接続をおこなってください。 ・別のスマートフォンが、接続されていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> —複数のスマートフォンと同時接続出来ません。使用していないスマートフォンの接続を解除してください。 ・別のスマートフォンで接続出来ますか？ <ul style="list-style-type: none"> —スマートフォン個体の問題とと思われます。別のスマートフォンで接続してください。
使用中に本体やカメラが発熱する。	<ul style="list-style-type: none"> ・触れないほど熱いですか？ <ul style="list-style-type: none"> —使用中は発熱します。触れないほど発熱する場合は、直ちに使用を止めてください。
録画映像の表示時刻と実際の時刻がずれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻同期は定期的におこなっていますか？ <ul style="list-style-type: none"> —定期的にスマートフォンと接続し、自動時刻同期をおこなってください。

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読み頂き、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、本品を安全に正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。



危険

- ・異常、故障、破損時は、直ちに使用を中止し、本品の電源コード(赤)を外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- ・本品は、無線通信(2.4GHz帯)を使用しています。心臓ペースメーカーや除細動器等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご相談ください。
- ・本品(本体、カメラ、スイッチ、電源ユニット、各種ケーブル・コード類)を絶対に分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・カメラステーのねじの緩み、取り付けた部品の両面テープにはがれ等がないか、定期的に点検をおこなってください。部品の脱落、事故、故障の原因となります。
- ・本品は、12Vバッテリー搭載車専用です。6V車やバッテリーレス車等へは、取り付けしないでください。火災、故障の原因となります。



警告

- ・走行中にスマートフォンの操作を絶対にしないでください。事故の原因となります。必ず、安全な場所に停車してから操作してください。
- ・走行中に無線LAN接続の操作はしないでください。事故の原因となります。
- ・走行中は、スイッチのインジケータを注視しないでください。事故の原因となります。また、このような行為は、道路交通法第71条への違反となり、処罰の対象となります。
- ・本体のラベルには、技術基準適合番号が印刷されています。このラベルは、絶対にはがさないでください。はがした状態で使用すると、電波法違反となります。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。



注意

- ・本品を長期間使用しない場合は、電源ユニットの中継コネクタを外してください。車両のバッテリー上がりの原因となります。
- ・電源ユニットの中継コネクタを外した場合、中継コネクタの金属部分がバッテリーのプラス端子に接触しないようにビニールテープ等で絶縁処理してください。ショートによる火災や火傷、本品及び車両故障の原因となります。
- ・外した中継コネクタは、ビニールテープ等で水や異物が入らないようにしてください。故障の原因となります。
- ・本品を落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
- ・本品の近くに強い磁気があるものを置かないでください。故障の原因となります。
- ・本品にガソリン、油脂類、有機溶剤、酸、ブレーキフルード等を付着させないでください。付着部の劣化、破損、故障の原因となります。
- ・指定以外のヒューズは、使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。必ず、規定の容量(アンペア)のものと同交換してください。
- ・SDカードスロットに異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・濡れた手でSDカードの抜き挿しや中継コネクタの抜き挿しは行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・SDカードの抜き挿しは、本品の電源がOFFの状態(IG OFF)で行ってください。故障の原因となります。

録画に関する注意

- ・本品は、すべての状況下において、映像や音声の記録を保証するものではありません。事故の大きさや水没等で、本品及び SD カードが損傷を受けた場合、映像を記録出来ない場合があります。
- ・本品によって記録された映像等は、事故の証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・本品の故障や使用によって生じた損害(記録された映像やデータの消失、損傷、破損など)について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本品の映像記録周期と LED 式信号機の周期によって、点滅または消灯して撮影される場合があります。また、逆光等の環境によって、色の識別が出来ない場合があります。この事象により発生した損害について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本品のカメラは、広角レンズを使用しています。広角レンズの特性により、映像の一部にゆがみや影が生じます。また、実際の遠近感と異なった映像となります。
- ・事故発生時の録画ファイルを残す場合は、SD カードを本体から取り外して保管するか、事故発生時の録画ファイルを専用スマートフォンアプリからスマートフォンへダウンロードしてください。
- ・本品で録画した映像は、使用目的や使用方法によって、プライバシー等の権利を侵害する場合があります。これについて、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・映像を鮮明に録画するため、走行前にカメラのレンズに汚れが付着していないことを確認してください。汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると、レンズの傷つきの原因となります。
- ・KK-903は録画開始後、スマートフォンとのペアリングにより自動的に時刻同期されます。前回の走行から期間が空いた場合など、走行前にスマートフォンとのペアリングを行ってください。
- ・バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合、初期時刻にリセットされます。再度、時刻同期をおこなってください。

無線 LAN に関する注意

- ・本品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として、技術基準適合を受けています。そのため、本品を使用するときに無線局の免許は必要有りませんが、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- ・本品が使用する周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの家電製品や産業、科学、医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局などが運用されています。本品を使用する前に、近くでそれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本品とそれらの無線局との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本品の使用場所を変えるか、本品の使用を停止してください。
- ・本品は、すべてのスマートフォンとの接続動作を確認しておりませんので、すべてのスマートフォンとの接続動作を保証するものではありません。

取り扱いに関する注意

- ・本体は、金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に固定しないでください。無線LANの通信状態が悪化する恐れがあります。
- ・洗車時に高圧洗浄機や細く絞ったホースの高圧水を本品に直接かけないでください。故障の原因となります。
- ・本体、カメラ、スイッチ、電源ユニットを清掃する場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると、傷の原因となります。また、ベンジンやシンナー等の溶剤や研磨剤は絶対に使用しないでください。部品の劣化、破損、故障の原因となります。
- ・本品はスマートフォンと接続をすることで自動的にスマートフォン内の日付との同期設定が行われます。本品を長期間使用しない場合、本品に設定された日時はリセットされるおそれがあります。電源に繋がなくても内蔵されている電池により時刻はカウントされ続けますが、日付の表示がおかしい場合は弊社までお問い合わせください。お客様自身での分解・修理に関しては動作の保証は致しかねますのでご注意ください。
- ・外した中継コネクタは、ビニールテープ等で水や異物が入らないようにしてください。故障の原因となります。
- ・スイッチユニットのマイク孔に棒状のものを挿し込まないでください。浸水、故障の原因となります。
- ・本体の防水キャップは確実にセットしてください。浸水、故障の原因となります。
- ・本体の上蓋を開いた部分に貼られているシリアルラベルは、絶対にはがさないでください。保証規定により修理、交換等の保証を受けられない場合があります。
- ・本体に表示されている電圧よりも高い電圧を入力しないでください。故障の原因となります。

●本品では、以下条件のSDカード※1をご使用ください。※2

記憶媒体	microSDHC / microSDXC
容量	8 ~ 256GB
スピードクラス※3	Class 10 / U1 / U3
フォーマット形式※4	8 ~ 256GB : FAT32
	アロケーションユニットサイズ : 64KB

※1 本書では特に断りのない場合、microSDHCカード及びmicroSDXCカードを「SDカード」と表記しています。

※2 SDカードの仕様によっては正しく動作しないことがあります。

※3 スピードクラスとは、連続書き込みに関する速度の規格です。

※4 他社製のSDカードをはじめてご使用される場合は、必ず本品でフォーマットをおこなってください。また、SDカードを本品ではじめて使用されるときに、本品のインジケータが異常表示をすることがあります。SDカードのフォーマットは、アプリ内の「SDカードのフォーマット」を選択、実行してください。

●SDカードの安全上の注意

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。 ・分解や改造はしないでください。機器の破損、火災、故障の原因となります。 ・曲げたり、強い力を加えたり、落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。火災、火傷、故障の原因となります。 ・異常な音や異臭がしたり、異常な発熱や発煙が見られた場合は、直ちに使用を中止し、本品の電源コード（赤）を外してください。火災、火傷、故障の原因となります。
---	--

●SDカードの取り扱いに関する注意

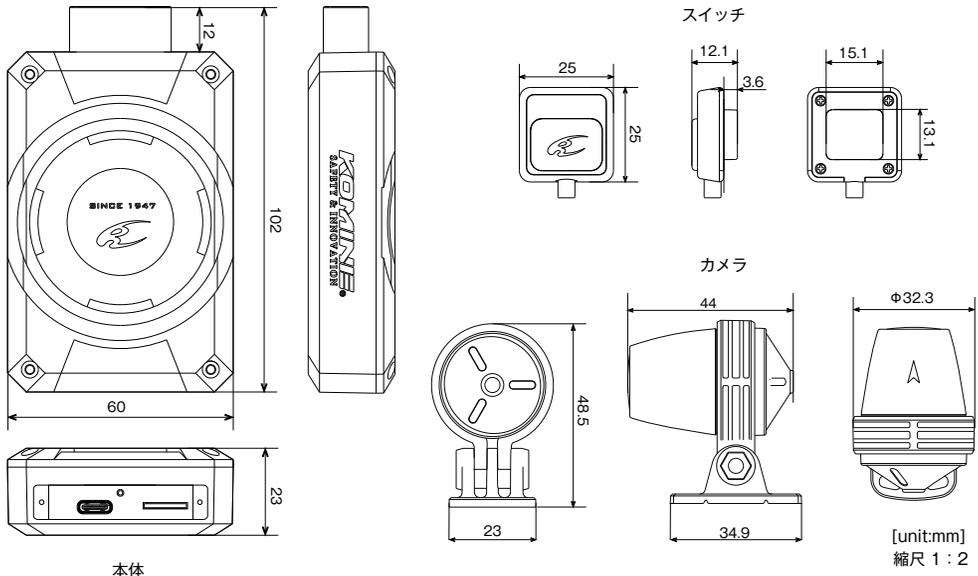
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマットする前に必要なファイルのバックアップをおこなってください。フォーマットを行うと、ファイルはすべて消去されます。 ・濡れた状態で、SDカードの出し入れを行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。 ・SDカードの出し入れは、使用する機器の説明書の指示に従って、おこなってください。故障、ファイル破損の原因となります。 ・PCにSDカードを接続するときは、SDカードの規格に適合したカードリーダーライターをご使用ください。故障、ファイル破損の原因となります。 ・ドライブレコーダーは、繰り返し上書きをおこなうため、SDカードのフォーマットを定期的におこなってください。 ・フォルダが存在するSDカードをPC以外の機器に挿入や接続をすると、自動的にフォルダやファイルが作成されることがあります。SDカード内に「KOMINE」フォルダ以外のフォルダやファイルが存在すると誤作動の原因となります。必ず、ご使用前に削除するか本品でフォーマットをおこなってから、ご使用ください。 ・必ず、ご使用前に削除するか、本品でフォーマットを行ってからご使用ください。ファイルが存在すると誤作動の原因となります。 ・SDカードは、消耗品です。正しくフォーマット出来ない場合、交換をしてください。
---	---

製品仕様

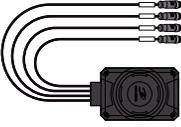
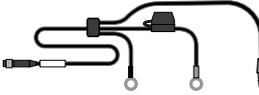
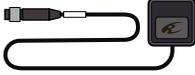
防水・防塵性	本体 カメラ スイッチ	IP67相当 IP67相当 IP67相当	記録媒体	microSDHCカード、microSDXCカード 32～256GB (Class 10 / U1 / U3) を推奨
カメラ	撮像素子 レンズ画角 フレームレート F 値 最低照度	SONY製 IMX307 STARVIS® 対角線136.6° (水平115.6°, 垂直61.6°) 27.5fps F1.8 0.1Lux		記録映像再生方法
記録解像度	前：1920×1080P 後：1920×1080P		電源電圧	12V バッテリー搭載車の車両ACC電源 5V USB-C コネクター
映像ファイル形式	MP4 (動画形式 : H.265)		消費電力	約5.8W
録画ファイル構成	1分, 3分, 5分 / 1 ファイル (選択可能)		質量	本体 116g (ケーブルを含む)
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画、手動録画)			カメラ 74g (ケーブル含む)
記録データ	映像ファイル、日時			スイッチ 72g (ケーブル含む)
音声録音	ON/OFF (スイッチボディ内蔵)		動作温度範囲	-30℃～80℃ (カメラ部 -20℃～70℃)
WDR	ON/OFF		Wi-Fi規格	2.4G IEEE802.11
衝撃センサー	ON/OFF (衝撃感度三段階で調整可能)		製品保証期間	1年 (付属品、消耗品除く)
動画補正	電子動体ブレ補正 (EIS)			

[STARVIS®]は、ソニーグループ株式会社の商標です。

外形・寸法



お取り付けの前に、すべての部品が揃っているか確認してください。

<p>①本体</p>	<p>②電源ハーネス (ケーブル長：1m)</p>	<p>③リアカメラ (ケーブル長：1.5m)</p>
 <p>×1</p>	 <p>×1</p>	 <p>×1</p>
<p>④フロントカメラ (ケーブル長：2m)</p>	<p>⑤スイッチ (ケーブル長：2m)</p>	<p>⑥クランプ (結束バンド付)</p>
 <p>×1</p>	 <p>×1</p>	 <p>×1</p>
<p>⑦スイッチ用両面テープ</p>	<p>⑧カメラ固定用両面テープ</p>	<p>⑨本体固定用面ファスナー</p>
 <p>×1</p>	 <p>×2</p>	 <p>×1</p>
<p>⑩結束バンド (幅3mm, 長さ200mm)</p>	<p>⑪保証書付クイックマニュアル (本書)</p>	
 <p>×12</p>	 <p>×1</p>	

取り付け上の注意

お取り付けの前に、この「取り付け上の注意」をよくお読み頂き、正しくお取り付けください。



警告

- ・本品を車両に取り付ける際は、必ずエンジンキーを抜き、不用意にエンジンがかからない状態で作業をおこなってください。重大な事故の原因となります。
- ・ケーブル類は、下記事項に注意して配線し、ビニールテープや結束バンド等で脱落しないように固定してください。部品の脱落、火災、事故、故障の原因となります。
 - ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
 - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
 - ・車両の可動部等への挟み込みや接触をさせない。
 - ・走行中に無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
 - ・車両部品取り付け時に挟み込まない。
- ・本品の取り付けは、運転操作や視界の妨げにならない場所、車両の各機能の妨げにならない場所に取り付けてください。事故、故障の原因となります。
- ・両面テープを貼り付ける際は、貼り付け面の油分や汚れを取り除くため、無水アルコール等でよく拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。部品の脱落、事故、故障の原因となります。
- ・本品は、車両の全長及び全幅を超えない場所に取り付けてください。
- ・本品は、車両の全高に対し、保安基準で定められた範囲(±4 cm)を超えない場所に取り付けてください。



注意

- ・本体は、金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に固定しないでください。無線LANの通信状態が悪化する恐れがあります。
- ・本品は、エンジン周辺等、高温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- ・必ず、本品の電源ユニットを使用して車両へ接続してください。不動作、故障の原因となります。
- ・本品ケーブルの中継コネクタ-金属部分がバッテリーのプラス端子に接触しないように注意してください。ショートによる火災や火傷、本品及び車両故障の原因となります。
- ・本品ケーブルの中継コネクタ-内部にドライバーなどの金属を接触させたり、異物を入れないでください。火災、故障の原因となります。
- ・本品のケーブルは、説明書の指示に従い正しく接続してください。火災、故障の原因となります。
- ・本体、電源ユニット、各ケーブルをシート下に取り付ける際は、乗車によるシートのたわみ等で圧迫されないように取り付けてください。ショートによる火災、断線や破損による故障の原因となります。
- ・テスターで電圧を確認する場合を除き、安全のためバッテリーケーブルを外して作業をおこなってください。火災、故障の原因となります。バッテリーケーブルの外し方については、車両のメーター内にエラー（自己診断エラー）が表示される場合がありますので、車両の取扱説明書をお読み頂くか、車両メーカーにご確認ください。
- ・本品ケーブルの中継コネクタ-を外すときは、コネクタ-のロックナットを緩め、コネクタ-本体を持って外してください。断線、破損、故障の原因となります。
- ・両面テープの貼り直しは、おこなわないでください。部品の脱落、事故、故障の原因となります。貼り直す場合は、必ず新しい両面テープに交換し、取り付けてください。

取り付け手順

1. 各部品の取り付け位置を決める

- 必要に応じ、車両の部品（シート等）を取り外してください。

2. 本体を車両に取り付ける

- ※面ファスナーで貼り付ける場合は、取り付け面の油分や汚れを取り除くため無水アルコール等でよく拭き取ります。汚れや油分が残っていると、両面テープがはがれ、部品の脱落、事故、故障の原因となります。
- ※本体は金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に固定しないでください。無線LANの通信状態が悪化する恐れがあります。
- ※本体の固定が不十分な場合、実際の衝撃と衝撃センサーで測定した値が一致しないことがあります。

3. カメラ(フロント/リア)を車両に固定する

※ 2つのカメラは、ケーブル長のみ異なります。車両に合わせて前後を変更しても問題ありません。

● 車両にカメラを仮固定します。

※ カメラが車両から落下しないように仮固定してください。カメラの損傷や故障、車両損傷の原因となります。

● 取り付ける場所に合わせてカメラの角度をだまかに調整します。(カメラ調整図参照)

① カメラが動かせる程度にカメラステーのねじをプラスドライバーで緩めます。

※ ネジを緩め過ぎないでください。ネジが外れ、部品紛失の原因となります。

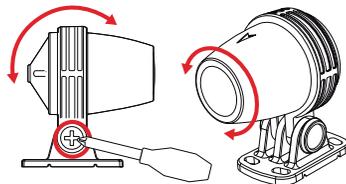
② 撮影する方向にカメラのレンズが向くように上下を調整します。

③ ネジはしっかりと締めて固定をおこなってください。

※ ネジを締め過ぎないでください。ネジの破損の原因となります。

● 両面テープを用いてカメラを本固定します。

取り付け場所、角度が決まりましたら同梱の両面テープで本固定を行います。



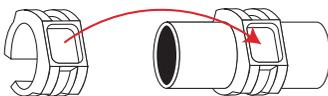
4. スイッチを車両に取り付ける

● 同梱のスイッチ用ハンドルクランプをハンドルに取り付け、結束バンドを用いてスイッチを車両に固定します。

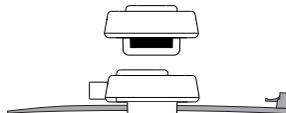
※ 運転操作に支障がなく、出来るだけ走行中にボタン操作をし易い場所に取り付けてください。

① ハンドルの取り付け部分にクランプを取り付ける。

※ 22.2mmハンドルが適正サイズです。適正サイズ外のハンドルへの取り付けは保証いたしかねます。

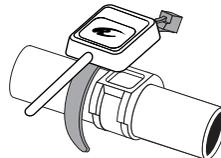


② スイッチに結束バンド(再結束タイプ)を通す。



③ クランプのくぼみにスイッチの底面をはめ込み。結束バンド(再結束タイプ)で固定する。

※ マイクホールはスイッチ背面にあります。可能な限りマイクホールを地面側に向けてすることで風音が軽減される可能性があります。



5. 電源ユニットを車両に接続する

● 以下の図を参照しながら取り付けを行ってください。

● 電源ユニットの各コードを車両に接続します。

※ 電源コードは、3本すべてを接続しないと動作しません。必ず、接続してください。

① **電源コード(赤)**の丸端子をバッテリーのプラス端子に接続してください。

※ 車両のバッテリー端子を外す際は、車両のメーター内にエラー(自己診断エラー)が表示されることがありますので、車両の取扱説明書をお読み頂くか、車両メーカーにご確認ください。

※ ヒューズボックスは、非防水です。水のかからない場所に設置してください。

② **電源コード(黄)**を車両のイグニッションキーがONのときに12V、OFFのときに0Vとなる線に接続してください。

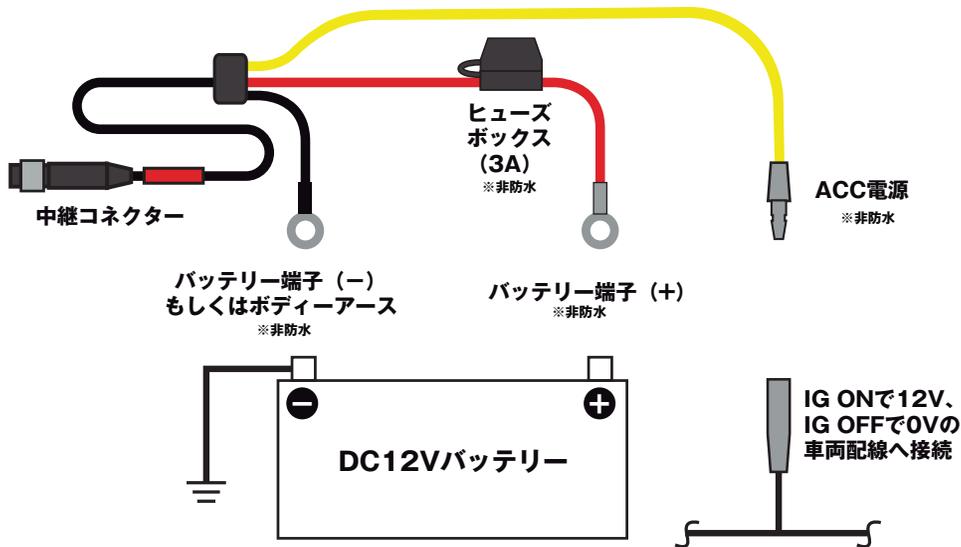
※ 必要に応じてギボシ端子を加工していただく可能性がございます。確実に接続を行わなかった場合動作不良、故障の原因となります。

※ イグニッションキーをOFF後、すぐに電圧が0Vにならない場合、本体の電源がOFFするまでに時間がかかります。

※ コードの接続部は端子用カバー、ビニールテープ等で絶縁、防水処理してください。

③ 電源コード（黒）の丸端子をバッテリーのマイナス端子またはボディーアースへ接続してください。

※ ボディーアースへ接続する際は、車両メーカーにご確認頂き、指定のアースポイントに接続してください。適切に接続ができていない場合は動作不良、故障の原因となります。



6. 本体にSDカードを挿入 ※SDカードは別途ご用意ください。

※SDカードの抜き差しは本体を車体から取り外し、作業に適する整頓された環境下でおこなってください。



- ① 本体横の十字ネジをドライバーで緩めて防水キャップを外します。
ネジは細かいので無くさないように保管してください。
- ② SDカードの端子側が本体上蓋に向くように「カチッ」と音がするまでSDカードを挿入します。（抜き取りの際はSDカードを再度「カチッ」と音がするまで軽く押し込み、ゆっくりと指を離すと抜き取ることができます。
※素早く指を離すとSDカードが飛び出すおそれがあるのでご注意ください。
- ③ 十字ネジを締めて取り外した防水キャップを固定します。力いっぱい締めこむことでネジ穴が破損するおそれがあるので、手で緩まない程度に締め込んでください。
※本体と防水キャップの間に異物（砂、髪の毛等）が挟まった状態で、固定しないでください。浸水、故障の原因となります。

7. 本体と各種ユニットを接続する

● 各ケーブルの中継コネクタを接続します。

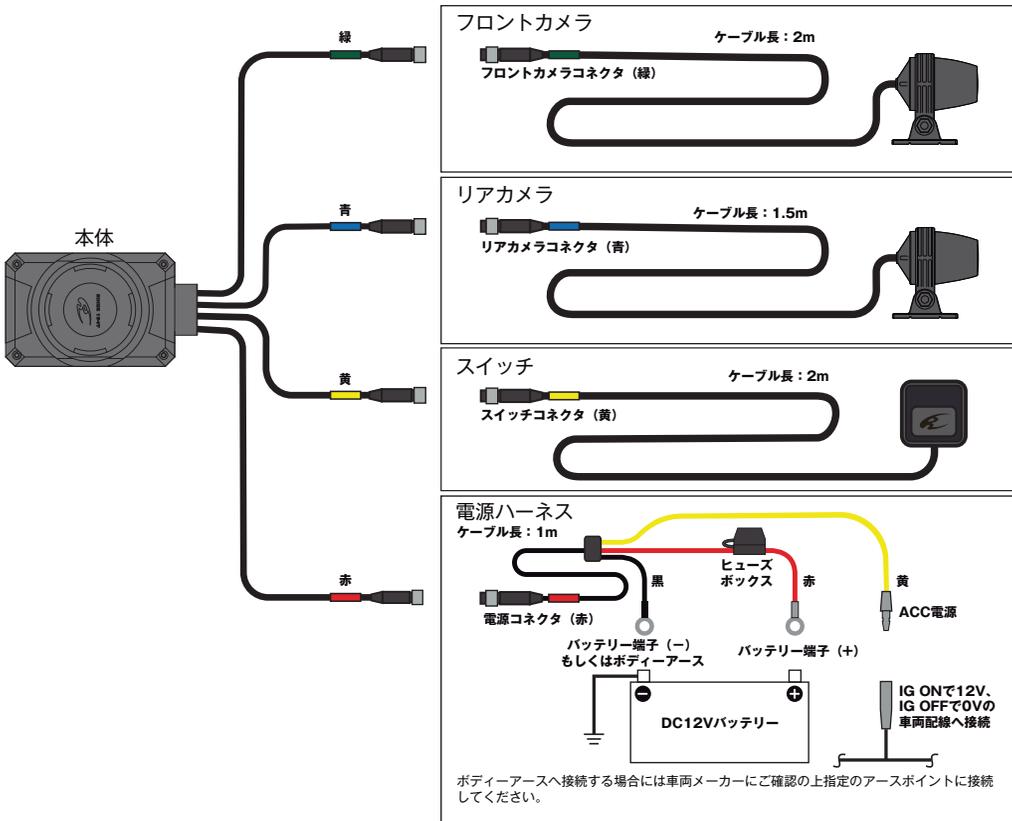
① 接続するコネクタの色とPIN配列を確認し、矢印マークの向きを合わせて接続します。

※ 必ず色とPIN配列、矢印マークを合わせて接続してください。ピン曲がり、折損、動作不良の原因となります。

【参考】各ケーブルの中継コネクタ-PIN配列（本体ケーブル側）



下図を参照して配線、取り付け作業をおこなってください。

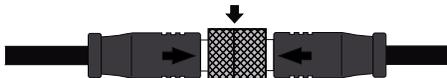


② 接続後、ロックナットを締め付けます。

※ ロックナットは、工具を使用せずに手で締め付けてください。



※ ロックナットとロックナットの隙間がなるべく小さくなるように確実に締め付けてください。



※ コネクターを外すときは、ロックナットを緩め、コネクター本体を持って取り外してください。断線、破損、故障の原因となります。

※ 本品ケーブルの中継コネクター金属部分がバッテリーのプラス端子に接触しないように注意してください。ショートによる火災や火傷、本品及び車両故障の原因となります。

※ 運転操作や可動部分に支障がないように固定してください。また、車両から取り外した部品（シート等）を取り付ける際に、挟み込みなどでケーブルを傷付けないようにしてください。断線、火災、動作不良の原因となります。

車両の各種機能や動作に問題がないことを確認します。

以上で、取り付け作業は終了です。

KOMINE 専用アプリ「KOMINE CAM」について KOMINE

● App Store(iOS)またはGoogle Play (Android) の公式アプリストアの検索画面から「KOMINE CAM」と入力し検索してインストールできます。

※インストールに伴う通信料は、お客様のご負担となります。



● アプリ開始時に“位置情報へのアクセス”、“メディアファイルへのアクセス”の許可を要求されますので、両方とも許可をいただきますようお願いいたします。

KOMINE 取り付け後の初期設定 KOMINE

1. スマートフォンと本体を無線LANで接続

※専用スマートフォンアプリをインストールし、車体のキーがONの状態、もしくはUSBでの給電により本体が通电されている状態でおこなってください。

アプリとの連携を行うためにスマートフォンでKK-903のアクセスポイントと無線LAN接続をする必要があります。スマートフォン本体の設定画面で無線LANをONにし、以下のアクセスポイントとパスワードを用いて接続をおこなってください。

アクセスポイント (SSID) 名 **KK-903-XXXX** 初期パスワード **12345678**

SSIDの「XXXX」にはMACアドレスコードが入ります。

リセットボタンを長押しすることで、レコーダーを工場出荷時の状態に戻し、パスワードを初期化することが可能です。

2. スマートフォンアプリで各種設定を行う

スマートフォンと本体の無線LAN接続をすることでアプリ内にて撮影に関する設定を行うことができます。初期設定の状態でも基本的な使用が可能です。必ず使用前に設定内容の確認をお願いいたします。

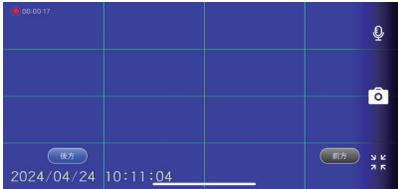
●SDカードのフォーマット

使用を始める前に必ずアプリ内の設定にてSDカードのフォーマットをおこなってください。フォーマットの際にはSDカードに記録されているファイルはすべて消去されます。大事なファイルなどが入っている場合は必ず事前にデータの移し替えをおこなってください。

フォーマット形式	FAT32
	アロケーションユニットサイズ：64KB

●撮影角度の確認

本機能を使うことでプレビュータブ内での全画面表示の際に画面にグリッド線を表示させることが可能です。カメラの位置・角度調整にご利用いただけます。



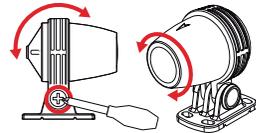
ON



OFF

撮影角度の設定手順

- ①アプリ内「プレビュー」にて撮影中の画面をリアルタイムで確認します。
- ②カメラマウントのボルトをサイズの合うプラスドライバーで緩め、任意の画角に調整します。
- ③調整が完了したらボルトを締め付けて固定し、撮影角度の確認を完了します。



●ビデオ解像度の確認

本製品においては1080P+1080Pのみ選択可能です。

●Wi-Fi接続パスワード変更

お好みのWi-Fi接続パスワードを設定していただくことが可能です。

※Wi-Fiのパスワードを変更した場合は、スマートフォンに保存された本体ユニットとのWi-Fi接続が一旦途切れます。その際にはもう一度スマートフォンの設定画面からWi-Fi接続を新しくしたパスワードを使用しやり直す必要があります。

●録音機能

録画中の音声収録機能のON/OFFを切り替えることができます。「プレビュー」タブ内でも設定が可能です。

●衝撃感度

アクシデント時に衝撃を感知し録画映像をプロテクトする際の基準となる衝撃値（加速度）の設定を行うことができます。設定可能な項目は以下の通りです。

- ・オフ
- ・低 衝撃値：0.9G～（乾燥している公道上でフルブレーキした際の想定しうる最大加速度値）
- ・中 衝撃値：0.6G～（一般的な四輪ドライバーが踏むフルブレーキ）
- ・高 衝撃値：0.3G～（一般的な旅客輸送において乗客が不快感を感じる程度）

●WDR

WDR機能のON/OFFを切り替えることが可能です。

●録画時間間隔

1つの録画ファイルの時間を設定していただけます。設定可能な時間は以下の通りです。

- ・1分
- ・3分
- ・5分

●録画日時表示

録画映像上で日時を表示するかどうかを選択することが可能です。

●デフォルト設定

アプリ内の設定及び本体ユニット内部に保存されたWi-Fiパスワードを初期設定に戻します。
初期化を行うことで各設定は右図のようになります。



3. 撮影データの確認

アプリ上で確認する場合

アプリ内での「再生」タブ内で録画した映像をご覧いただけます。ダウンロードも可能です。

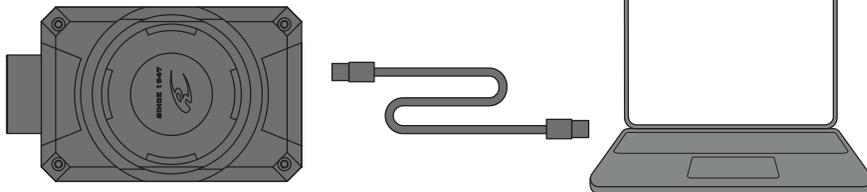
SDカードを取り出して確認する場合



防水キャップ固定ネジを+ドライバーを使って緩めてから防水キャップを取り外します。

SDカードスロットからSDカードを抜き取り、お手持ちのSDカードリーダーを通してPC上でデータの閲覧をしていただくことが可能です。

USB接続して確認する場合



防水キャップを外し、本体ユニット横のUSB-Cソケットに、お手持ちのUSB-C対応ケーブルを接続してPCと接続します。
PC上でKK-903が認識されましたらデータの確認を行うことが可能です。

※USBケーブルの種類やPCのOS上によっては読み取りができない場合がございます。

※アップデートの内容によっては操作方法の変更などが生じる場合がございますのでご注意ください。

車両の各種機能や動作に問題がないことを確認します。

以上で、取り付け後の初期設定作業は終了です。

常時録画

- ①車両のイグニッションキーをIG ONにすると、本体の電源がONになります。
- ②電源がONになると、数秒後に本体のシステムチェックが実行されます。
システムチェック中のインジケータは下記パターンで点灯します。



※取り付け後、初めて本体の電源をONにした場合などはシステムチェックに時間を要する場合がございます。

- ③システムチェック終了後、常時録画を開始します。インジケータは下記パターンで点灯します。



- ③バイクのキーをオフすることで、常時録画を終了します。

- 1ファイル1分/3分/5分(選択可)で録画し、常時録画ファイルとして保存します。

※録画中に電源がOFFになったときは、その時点で録画を停止するため、1ファイルが1分 or 3分 or 5分に満たない状態でファイル保存されます。

衝撃録画

- 常時録画中に衝撃を検知した際、衝撃検知前後の録画ファイルを「衝撃録画ファイル」として保存する機能です。

- ①常時録画中に設定以上の衝撃を検知したとき作動します。
インジケータの表示は変わりません。
- ②衝撃録画が終了すると、自動で常時録画を再開します。
※自動で常時録画に切り替わるため、スイッチ操作をおこなう必要はありません。

プロテクト録画



プロテクト録画：1回短押し

ボタンを押した時点とその前後の録画ファイルをプロテクト録画としてSDカードに保存することができます。

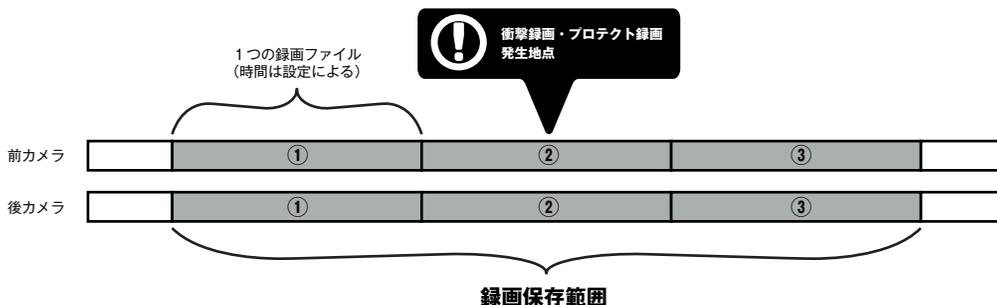
※プロテクト録画も衝撃録画と同様に“衝撃時”フォルダに保存されます。

プロテクト録画を開始した時にはLEDが2回、紫色に点滅します。



衝撃録画・プロテクト録画の保存方法について

●車体及び本体ユニットに衝撃が加わった場合、プロテクト録画スイッチを押した場合には下記の図のように録画ファイルの保存をおこないます。



※ 衝撃録画及びプロテクト録画中に電源をOFFした場合には、電源をOFFした時点で録画を停止するため、電源OFF時点での録画したファイルの直前のファイルまでを保存します。

※ 衝撃録画及びプロテクト録画を開始した時点より前の録画ファイルが存在しない場合、保存ファイルが①～③の3つではなく②～③の2つになる場合がございます。

※ 衝撃録画とプロテクト録画を同時に行った場合、時間が重複するファイルは1ファイルのみ残ります。つまり②の録画時間最中に2種類の録画保存をおこなった場合、保存されるファイルは前①②③、後①②③の計6ファイルとなります。

本体の電源のON-OFF (バイクのキーはON)



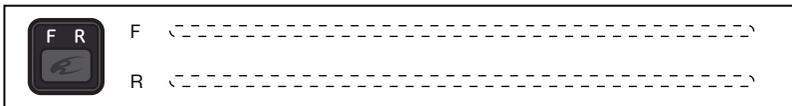
撮影中断/再開：1回長押し（5秒間以上）

本体の電源を切ることで、撮影を中断させることができます。

撮影が中断されるとLEDの点灯が終了します。本体の電源を入れ撮影を再開するには再度5秒間ボタンを長押しします。

LEDが青点灯に切り替わったら撮影が再開されます。

撮影が中断されるとLEDが消灯します。



※バイクのキーをオフにすることで自動で電源が切れます。電源が切れている間は録画はできません。

インジケータ表示一覧

セットアップ中



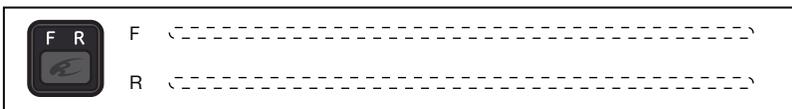
常時録画中



プロテクト録画

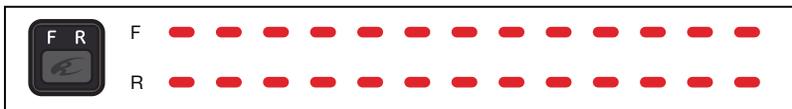


録画停止時

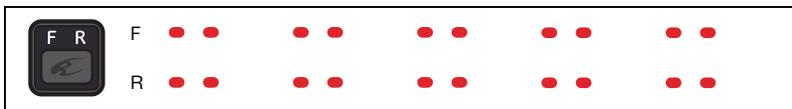


カメラ異常

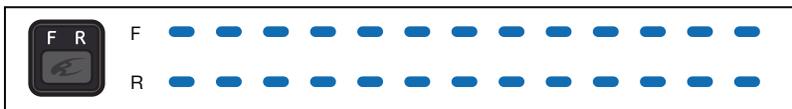
※前後のうち異常のあるカメラのほうのLEDのみ赤く点滅します。下の画像は両方異常がある場合を示しています。



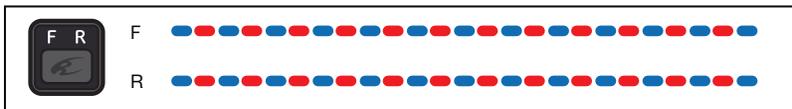
本体異常



SDカード無し/異常



ソフトウェアアップデート中



本体の初期化

- 本体の設定を初期化（工場出荷状態）する方法について、説明します。通常と異なる動作をした際に、電源OFF/ONで改善が見られない場合などにご使用ください。

※ 各種設定内容は全てリセットされ初期設定（工場出荷状態）に戻ります。

- リセットされる設定内容

・時刻設定 ・無線LANパスワード・録画サイズ・画質
・衝撃検知感度・音声記録・上書き（常時） ・上書き（衝撃/手動）

- KK-903を初期化する

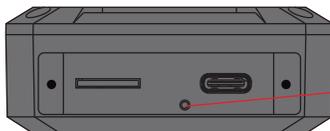
① 本体の電源をONにします。

② 本体横の十字ネジをドライバーで緩めて防水キャップを外します。

※ネジは細かいので無くさないように保管してください。

③ 本体の小さな孔に硬い針金の先端を挿し込みリセットスイッチを押します。（下図参照）

※しばらくしてインジケータが消灯し、本体が再起動します。



リセットボタン

先の細い、硬い針金のようなもので
押してください。

以上で、本体設定の初期化は終了です。

1.保証期間

保証修理の期間は、正規販売店もしくは正規販売サイトからお買い上げいただいた日から使用の有無にかかわらず一年間とします。フリマサイト・個人売買でのご購入の場合は有償でのご対応となりますのであらかじめご了承ください。

2.お客様にお守りいただく事項

当社商品を安全快適にご使用いただくためにはお客様正しい使用と点検、整備が必要です。

次のことを必ずお守りください。守られていない場合は保証修理をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

(1)当社の取扱説明書に示す取り付け・取り扱い方法に従って使用すること。

(2)運転前点検および保守、整備を実施すること。

3.保証ができない事項

(1)次に示す事項は保証修理致しません。

①経年変化あるいは使用損耗による不具合。

②一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。

③地震、台風、水害などの天災、事故、および火災に起因する不具合。

④記載されている動作温度環境下である-30℃～80℃（カメラ部-20℃～70℃）を逸脱した環境での長時間使用、煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。

⑤法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。

⑥通常の注意で発見処置できたのにも関わらず、放置したことにより拡大した不具合。

⑦説明書内に記載されている「ご使用前に必ずお読みください」内の要項を守らなかったことに起因する不具合。

⑧表示された防水規格の許容範囲を越えた状況下における浸水による故障。

⑨本体ユニット以外の消耗品。

(2)次に示す費用は負担いたしません。

①発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。

②商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。

③電話代、運送代、機会損失等。

④この保証書に示す以外の費用、保証等。

4.保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、当社商品、保証書と購入を証明するもの（レシート・領収書・購入控え等）をご用意いただき、当社までご連絡いただきますようお願いいたします。本書を提示されない場合、又はご連絡を頂いていない場合は保証修理を致しかねます。